

**【事務事業調査】**

事務事業名	チームティーチング事業		予算科目コード	会計 - 款 - 項 - 目 - 事業
				10 - 01 - 02 - 003 - 004 - 02
担当部課	こどもみらい課	担当	学校教育担当	事業の分類
		サブリーダー	斎藤雅人	
				既存事業

**事務事業の概要**

	何をどのような方法で実施します(実施しました)か？	どのような成果が現れます(現れました)か？
計画	[小学生]1年生は32人以上のクラスに一人、2～3年生は35人以上のクラスに一人、(計6名) 心身に障害をもつなど配慮を要する児童に対して支援を行うことを目的、(計24名) [中学生]中学校の主に数学科授業のチームティーチング、(計6名) 心身に障害をもつなど配慮を要する生徒に対して支援を行うことを目的、(計5名) 生活指導(計2名)	情緒的に配慮を要する児童に対し、取り出しによる1対1の学習を始めたが、そこで心を安定させることができるので、落ち着いた時間を過ごすことができるようになってきた。また、本年度から中学校にも配慮生徒対応の非常勤講師を配置したが、クラスに入ることによって授業の成立に効果的であった。中学校でのチームティーチングも、多くの目で学習支援をするのに有効である。
実績	特別な配慮を要する児童生徒に対する特別支援を目的に、各学校に非常勤講師を配置した。 [小学生]多人数対応として、1年生は32人以上のクラスに一人、2～3年生は35人以上のクラスに一人配置、(3名)、特別支援学級に配置(2名)、特別支援教室に配置(1名)、帰国子女対応として語学支援として配置(2名)、心身に障害をもつなど配慮を要する児童がいるクラスに配置(17名)、(合計29名) [中学生]心身に障害をもつなど配慮を要する生徒がいるクラスに配置(5名)、教科充実支援のために配置(6名)、(合計6名)	特に情緒障害を持つ(障害の恐れがある)児童生徒がいるクラスに対し、非常勤講師(臨時職員)を配置することにより、児童生徒1人ひとりに目が届き、充実した学習支援や楽しい学校生活をおくるための学級経営ができるようになった。

**活動指標**

指標	目標値	達成値	特記事項
配慮が必要と判断される児童生徒数への配置率	50%	32%	各学校から特別支援関係で配慮が必要な児童生徒数は127名。配置人数は40名。

**事業費(計画)**

番号	細 節	金 額
1	臨時的任用職員資金	84,906,000
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
		84,906,000

**事業費(当初予算)**

番号	細 節	金 額
1	臨時的任用職員資金	73,021,000
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
		73,021,000

**事業費(実績)**

番号	細 節	金 額	特記事項
1	臨時的任用職員資金	69,672,600	40名分(多人数支援、配慮児支援、特学支援、特別支援、教科支援、語学支援)
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
		69,672,600	

**事業経費**

		計 画	実 績	特記事項
予 算	当初予算額		73,021,000	
	補正予算額			
	流用額			
	予算現額		73,021,000	
決 算	決算額		69,672,600	
財 源	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	受益者負担金			
	その他の特定財源			
	計	0	0	
	差引(一般財源)	84,906,000	69,672,600	